

内閣府は、本方針に基づき、令和7年度予算では、
経済・財政・社会保障の持続可能性の確保に向けた取り組みを推進する方針です。

▼経済財政運営と改革の基本方針 2024

～賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現～（令和6年度6月21日閣議決定）

https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebuto/2024/2024_basicpolicies_ja.pdf

▼概要

https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebuto/2024/summary_ja.pdf

◇◆ トピックス (2)

内閣官房「デジタル行財政改革取りまとめ2024」を公表

.....◆◇

内閣官房は、6月18日、
デジタル行財政改革会議の最終取りまとめを公表しました。

教育分野では、教師の厳しい勤務実態や、児童・生徒の特性の多様化、
学校ICT環境の自治体間格差を踏まえ、以下の内容などが盛り込まれています。

1.校務DXの推進

2026年度から4年間かけて、パブリッククラウド環境を前提とした
次世代校務DXへの移行を進める。

校務DXを着実に推進するために、進捗などを一元的に可視化できるツールを活用し、
全国の校務DXの実態を把握しながら、必要な政策を進める。

また、2023年11月に実施した調査によると、
ネットワーク環境の推奨帯域を満たす学校は2割程度だった。

そのため、自治体に必要なネットワーク速度を定め、
2025年度末までに、全ての学校で必要なネットワーク環境を整備する。

2.オンライン教育・民間人材活用の促進

デジタル田園都市国家構想交付金TYPESにより、
中山間地域や離島の小中学校で「多様な学び」の実現を目指す。
オンライン授業の発信者となる専門性の高い教師や民間人材をリスト化し、
受信者である教師をつなぐマッチング機能を備えた、
共通利用基盤を2024年度に構築する。

2025年度以降には、全国への横展開を図る。

3.教育データの効果的な利活用の推進とそれに必要な環境整備

子供たちの力を最大限引き出すために、官民で役割分担して、データの利活用を推進してきたが、自治体間のデータ連携などに課題が浮上していた。これを踏まえ、教育DXの目指すべき姿と必要な施策を整理し、2024年度内を目途に教育データ利活用ロードマップを改定する。また、年次更新などの校務を効率的に実施し、学習履歴などの提供を円滑にするため、データ連携基盤や、アーキテクチャ・ID管理の実現方策を検討する。

▼デジタル行財政改革 取りまとめ 2024

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_gyozakaikaku/pdf/torimatome_honbun.pdf

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2024年7月5日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：8件 （2）誤公開：3件 （3）誤配布：2件
（4）誤送信：1件 （5）ワーム・ウィルス感染：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2024年4月15日～2024年7月3日に合計15件の事故が発生しました。情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

（1）紛失・置き忘れ

東京都 2024年4月15日 小学校 SDカード 27件
奈良県 2024年6月22日 県立高等学校 書類 216件
千葉県 2024年6月26日 市立中学校 書類 20件
愛知県 2024年6月28日 市立中学校 書類 35件
岐阜県 2024年6月28日 市立小学校 デジタルカメラ 53件
埼玉県 2024年7月1日 県立特別支援学校 書類 1件
広島県 2024年7月2日 市立小学校 書類 6件
埼玉県 2024年7月3日 県立高等学校 SDカード 13件

（2）誤公開

岐阜県 2024年6月26日 私立大学 インターネットサービス・アプリ 23件
群馬県 2024年6月27日 その他 ホームページ・Web 3,528件
滋賀県 2024年7月2日 市立中学校 インターネットサービス・アプリ 9件

（3）誤配布

埼玉県 2024年6月14日 市立小学校 書類 49件

神奈川県 2024 年 7 月 3 日 市立小学校 書類 2 件

(4) 誤送信

新潟県 2024 年 7 月 2 日 保育園・保育所 電子メール 3 件

(5) ワーム・ウィルス感染

東京都 2024 年 7 月 3 日 私立高等学校 不明

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

奈良新聞デジタル／千葉市ホームページ／東京新聞 TOKYO Web／埼玉新聞ウェブ／ニュースサイト「毎日新聞」／滋賀報知新聞 Web サイト／埼玉県ホームページ／Security NEXT など



□ **【3】** 学校 ICT・セキュリティコラム



◆ **メタバースの学校で見た教育の可能性** ◆

情報経営イノベーション専門職大学 客員教授 齊藤 大将

メタバースでは、ユーザーはアバターを使って現実世界とは異なる姿で他者とコミュニケーションなどを行うことができます。この特徴は、教育にも大いに役立つ可能性があります。アバターのメリットは、「見た目の影響を受けないこと」「普段の自分とは異なるアイデンティティを持つことができること」などが挙げられます。実際、バルセロナ大学のアバターを使った人種差別に関する研究では、アバターが偏見を減らす効果が確認されています。私が行ってきたメタバース空間の模擬学校「私立 VRC 学園」や「VR 言語交流イベント」「VR 美術館」などでは、ユーザー同士が年齢や性別などを知らずに交流しています。メタバースでは、相手の素性を知る必要もなければ、自分の素性も明かさずに済むため、自由で安心できる「居場所」が実現します。

江戸時代には、武士が身分を隠して徘徊する文化がありました。俳諧は江戸時代を通じ、人と人を現実の身分の壁を超えて、

ひととき文芸の仮想世界の中で交流させる装置を作り上げました。
これらは、メタバースにおけるアバターの利用に似ていると思います。
人は誰でも自分の中に複数の「アバター」を持っており、
それぞれの場や人との出会いに応じて使い分けることができます。
そんなさまざまな自分を人や場との出会いに応じて大事に育てながら、
しかもそれを時によって切り替えるというメタバースの世界は、
そうした多様性を認めた上の自由な生き方につながっているのです。

不登校の学生は人と話す機会をあまり持てないことが多いですが、
メタバースではアバターを通じて生き生きと活動する様子が見られます。
メタバースでは、相手の素性を知る必要もなければ、
自分の素性を明かす必要もない自由な「居場所」の実現ができるからです。
例えば、私はメタバース空間で2年前に知り合い、
いまだに仲良くしている方と先日リアルでお会いしました。
彼は中学生のときから不登校で、メタバースで遊んでいる際に私のイベントを知り、
参加してくれていたようです。
しかし、彼は非常に博学だったため、私は最近まで彼が高校生だということ
を知らずにメタバースで彼とフラットに接していました。
もし彼と先にリアルで知り合い、最初から彼が学生であることを知っていたら、
私の彼への接し方も先輩ぶった異なるものになっていたかもしれません。

大人が子供に対して、大人のように振る舞うことを期待すると、
子供はその期待に応えようと成長します。
反対に、赤ちゃん扱いされると、その期待に沿う行動を取るようになります。
これを「ピグマリオン効果」と呼びますが、
メタバースでのアバターを介したコミュニケーションは、
この効果を生みやすいと感じます。

メタバース空間は、現実世界では得られない自由で多様な交流と
自己表現の機会を提供し、教育や個人の成長にも寄与します。
偏見を減らし、自分の中の異なるアイデンティティを育てることで、
現実で居場所のない人々も活躍でき、相手を先入観なしに評価することが可能になるのです。

◆ 執筆者プロフィール ◆

齊藤 大将

株式会社シュタインズ代表取締役。

情報経営イノベーション専門職大学客員教授。

エストニアの国立大学タリン工科大学物理学修士修了。

テクノロジー×教育の事業や研究開発を進める一方、仮想空間に学校や美術館を個人創作。

CNETにてエストニアやVRに関する連載を持つ。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ **【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」** を公開 ◆◆……

ISEN では、今年 6 月に「令和 5 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 1 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

< 事務局 >

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2/>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy/>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3/>